

2 意見の内容と笠岡市の考え方

(1) 計画に反映したもの

| 番号 | 該当箇所 | 意見要旨 | 笠岡市の考え方 |
|----|---|--|--|
| 1 | 29から31 ページ 基本目標2 認知症に早く 気づき、必要な 支援を受ける | 認知症になっていく過程やその予防・対策を作成して周知すれば、市民に予防の必要性が伝わりやすいと います。 | 認知症の進行は、認知症の種類や置かれている環境、周囲の関わり方で変わります。ご意見の認知症になっていく過程やその予防・対策、周囲の関わり方については、2026年(令和8年)に作成し、全世帯に配布する「認知症ケアパス」に記載する計画です。内容は、認知症になっても地域とつながり生活が続けられること、早めに病院に行き相談することが大切なこと、相談窓口の紹介などを記載し、認知症の人だけでなく、市民の皆さんが認知症による暮らしの不安を少しでも減らしていただけるものにしたいと考えております。 |
| 2 | 34ページ 基本目標3 通所介護事業 所を利用する 認知症の人た ちが、地域活動 などを行い、生 きがいの創出 に取り組む | みんな、いつかは必ず歳をとります。お年寄りや障がい者が、生きがいを持って安心して生活できる環境づくりをお願いします。 私自身、高齢者の居場所作りを模索しており、現在、年1回子どもたちや地域の参加者が参加して、里山散策や野外炊飯などを行い、自然を満喫しています。近隣の山や旧幼稚園等の跡地を活用して、農作業や自然環境保全の地域活動を体験することにより、生きがいの創出につながると思います。 | 70歳代の男性や若年性認知症の人は、社会とのつながりが少ない現状にあります。認知症の人が受け身ではなく、ご自身がやってみたいことや生活に楽しみが持てることを一緒に考える取組みを通所介護事業所と行いたいと考えています。地域の皆さんから、場の提供や体験の手法などいろいろな情報をいただけることは非常にありがたいと思います。引き続きよろしくお願ひします。 |